

Z先生

この四週間、先月中はあまり良くなく、SNSの投稿やウェブ日記も、「死にたい死にたい」の文章の連続でした。毎日毎日、ヒルナミンが必要でしたが、飲んだら飲んだで気力がなくなつてなにもできないことも少なくありません。そのことを考えると、イライラと抑うつを繰り返しているだけで結局なんの解決にもなっていないのかな、と思うこともあります。どうしたらいいのかよくわかりません。

それでも、僕の様子からその兆候を見抜き、母や妹がドライブに連れ出してくれましたので、自殺企図が激しく現れることはなかったように思っています。もっとも、抑うつ状態の結果、気力がなくて自殺を企てる気力さえなかった、というのが本当のところなのかもしれませんが…。

一方、8月に入る前後から、晴れた日が続いたからかバイオリズムなのか要因は判りませんがここ10日ほど精神状態は比較的良好です。先週、大学、高校の恩師と友人に暑中見舞いを出しました。母に暑中見舞いはがきを買ってきてほしいと頼んだら、母も、気になっていた北海道に引っ越した友人に書いてみようと思ったようで、暑中見舞いを書いていました。僕には昨日、大学の恩師からお返事がきました。元気とのことでした。

しかし一方、母がはがきを出した北海道の友人のかたは、実は5月に亡くなっていたことが、はがきを受け取った旦那さんからの電話で判りました。母は少し動揺していたようです。母は1年半ほどの間に自分の母と友人3人を亡くして、なんだか気の毒です。『自分の年齢を考えるとこれからそういう知らせが次々に来るのだろうか』といった旨のことを話しています。特に目に見えるようなひどい落ち込み、といったことは今のところ見受けられませんが、内心はどうなのだろうかと少し心配しています。

僕は大学時代は、「同級生であること」以上の友人を特に作りませんでしたので、友人は主に中学・高校時代の同級生になりますが、僕は彼らより、少なくとも2ステップ若しくは3ステップ以上、人生のステップが遅れていますので、近況を聞くだけでも相当劣等感を感じています。SNSでの近況報告を読むたび、絶望感を感じています。彼らの中にはNHK東京本局のアナウンサーがいたり、フリーのナレーターで食べている人がいたり、作詞家がいたり、フリーライターがいたり、こういう派手な人たち以外にも、息子二人を大学に入れて出したとか、娘が大学を出て今年から社会人、という、僕がなし得ていないステップに進んでいたり、日々のちょっとした出来事…例えば何々を買った、何々を食べた、といった投稿で劣等感、絶望感を感じます。SNSは必ずしも僕の精神的安定を招くものではないのでやっていた方がいいものなのか悪いものなのかよく判らないのですが、ネットをやっている以上避けられそうもないようです。

来月開かれる、昭和63年(1988年)A高校卒業生の学年同窓会の案内が、親しい友人から届きました。出欠確認のはがきが入っていたので、勿論『欠席』に丸をして送りました。同窓会なんて、『生身のSNS』以外の何物でもないもので、最初から行く気もありませんでしたが、『無職独身子供なしデブ』のアホヅラ下げて出席するものはばかられますので。

僕は、成人式、不本意入学の大学の入学式、卒業式…節目節目の行事というものにことごとく出席していません。成人式はその意味がわかりませんでしたし、不本意入学の入学式・卒業式はただの屈辱の式典でしたので…。当日はアパートで一日寝ていました。後日、学生課に行つて卒業証書や卒業アルバムなどを受け取り、学生生活は終わりました。実は、大学の校歌を知りません。志望大学だった大学の校歌は知っています。

暑中見舞いを出した大学の恩師から、「行政書士はどうかしら」とのアドバイスを受けたので法律関係の勉強に慣れて、一時勉強していて中断している社会保険労務士にも手を伸ばせるようにこれから少しずつ勉強をしてみようかと思えます。それらがちゃんと自分の職業になって同窓会に堂々と出席できるように、そして屈辱が屈辱でなくなるように。

※今度の血液検査が今月30日なので、次回、結果のコピーをお持ちします。

- ・睡眠 3～4時間
- ・食事 甘いものを摂りすぎ
- ・便通 正常

2018(平成30)年8月7日

豆々